

1月～3月の市史編さん事業活動報告

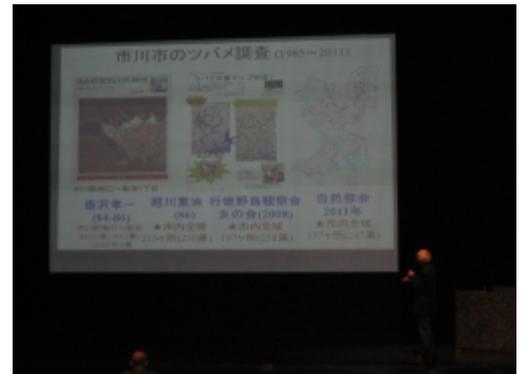
●講演会「古代の戸籍と家族」1月21日

考古博物館との共催で講演会「古代の戸籍と家族」を行いました。講演会でははじめに加藤友康氏より、正倉院文書についてこれまでの復原作業と整理状況の概観、下総国戸籍の復原作業について報告されました。次に田中良之氏は、今までの考古学研究と古代史研究における親族関係の考え方の違いを概観し、墓の発掘により明らかになってきた親族関係の時代変化について講演されました。最後に吉村武彦氏は、下総国戸籍から読み取れる奈良時代の家族について講演されました。



●講演会「ツバメのくらしから見た市川」1月27日

昨年夏に行ったツバメ営巣調査をふまえて、講演会を行いました。はじめに唐沢孝一氏より、ツバメの生態が紹介され、都市環境や都市人のツバメに対する意識変化や、ツバメの繁殖を長期に渡って調査することの意義について講演がありました。次に越川重治氏は、1986年に行った調査と昨年夏に行った調査を比較して明らかになってきたツバメの繁殖戦略の変化や、住民の考え方の変化について、調査で撮影された写真を交えて報告されました。最後に山崎秀雄氏は、ヒナの糞の内容物の分析から、成鳥の餌とヒナの餌とは大差ないと判断できることや、翅アリ発生時期に育雛期の一つがあることなど、ヒナの餌について話されました。講演後には会場から、ツバメの巣を守る方法や、ツバメに巣を作ってほしいがどうしたらよいかなど多くの質問が寄せられました。講師からはツバメの尾羽がつかないよう蒲鉾板くらいの小さな板で補強してあげると、壁に取り付けられたその板をきっかけにツバメが巣を作りやすくなるなどの回答がありました。



●市史編さん学習会「市川のカエルたちー特にヒキガエルの産卵についてー」

2月12日に中央公民館、2月19日に南行徳市民談話室で開催しました。これはカエルについて知っていただき、ヒキガエルの主たる産卵地が民家の敷地内ということから情報収集のご協力もいただきたいと開催した学習会です。平成24年5月31日までwebサイト・自然博物館で情報を募集中です。



<http://www.city.ichikawa.lg.jp/shishihensan>

問合せ先: 市川自然博物館 (TEL:047-339-0477)

●『市史研究いちかわ』編集委員会1月24日 第3号掲載内容の確認・編集作業などを行いました。

●『写真図録(仮)』編集委員会2月23日 人の流れ・道路の流れによる地域別の構成案を基に、今後の検討・作業を進めることが決定されました。

●第4回市史編さん委員会3月6日 答申(案)の最終検討・確認を行い、決定されました。

市川市映像文化センター（市史編さん事業担当）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階

TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356 <http://www.city.ichikawa.lg.jp/shishihensan>